



学校だより

2月号

令和3年1月29日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 750名

G I G Aスクール構想の始まり

校長 野津 美智代

令和元年12月13日に閣議決定された令和元年度補正予算案において、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費が盛り込まれました。「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018~2022年度)」が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前倒しとなり、本市でもこの3月までに1人1台(中学校卒業まで)のPC端末が整備されます。

職場でも家庭でも社会のあらゆる場所でICTの活用が日常となっている現在、これからの社会を生きる子どもたちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶ学習における必需品になり、これからの学校教育も劇的に変わります。

さいたま市教育委員会の推進する「さいたま市G I G Aスクール構想」においても、『多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたちに一人一人に公正に個別最適化され、創造性を育む教育』を掲げており、教職員も今後、研修に励み、以下のような学習指導を実践してまいります。

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

文部科学省HPより

🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- ・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



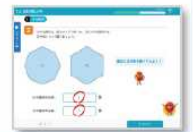
🌱 一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



子どもたちは、登校したら自分のタブレットを取り出してログイン。タブレットで今日の1日の予定の確認。体温や健康状態の入力。タブレットを活用して、授業。家庭に持ち帰り、タブレットで宿題。・・・近い将来、学校はこんな風が変わっていきます。

しかし、タブレット (ICT) の活用は手段であり目的ではないということを忘れてはなりません。目的は、自分が立てた課題解決のためにWEB検索して情報収集を行ったり、収集した情報の整理や分析を行ったり、プレゼンテーションによるまとめをしたりすることで、試行錯誤する学びの姿勢を習得し、探求型の学びを通して、新しい価値を生み出すことができる思考力・判断力を育てることです。

これからの予測困難な時代であっても、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、自ら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指してまいります。